

# 図書館だより

第八二号  
令和四年  
七月二十二日  
富士宮西高  
図書委員会

## ぜんぶ

大切なことは  
ぜんぶここにある。  
泣くこと 笑うこと  
怒ること 喜ぶこと  
あたりまえの気持ちは  
あたりまえのものとして  
そのまま 今ここにある。  
もつどこへも行かなくても  
なんにもしなくても  
どこへ行っても  
何をしても  
ぜんぶそのままだ。



『まるまる帳』わくわくせむい

カット 22HR 西井戸 美緒

## アサーション

教頭 望月昭義

「自分の思いを相手に正確に伝えることができるか?」こんな問いに対し、自分の授業を振り返ってみると、一方的に説明し、うまく説明できたと満足することがあったが、正確に「伝わった」かどうかは疑問であった。そして自分を顧みて反省させられた。「会話」を検索して調べると、「二人以上の人が集まって互いに話をかわすこと。」となっている。また、会話はしばしば「言葉のキャッチボール」と喩えられるというが、「互いに」という点が大切だと気付かされる。話すことばかりとか、聞くばかりではなく、聞くことと話すことの適切なバランスが重要なのだとその後ずっと感じている。

授業とは離れ、日常会話においても同様なのだと思う。人の話し方のタイプを調べると、相手の気持ちや立場を配慮せずに、一方的に自分の意見を主張するAタイプ。対立を避けたい、自分がやった方が早いという気持ちから、言いたいことを伝えられない、なかなかNoが言えないBタイプ。相手の立場や気持ちを尊重しながら、自分の気持ちや考えをうまく伝えられるCタイプがあるそうだ。私は、状況によって意識せずにどのタイプにもなっている。理想はどうあ

るべきかと考えたとき、Aでは話し手は気持ちよく話せるが、聞き手は追い詰められ、苦しい思いをすることもある。また、Bでは話し手として思いを表現できず、ストレスが溜まって苦しむこともある。会話をキャッチボールとして、お互いに気持ちよく行おうとするならば、Cタイプに近づいていきたいと思う。そのためには、「アサーション」という言葉をもとにトレーニングをしていくことが一つの方法だ。「アサーション」とは相手を尊重しつつ自分の意見を伝えるコミュニケーション方法の一つで、自分も相手も大切に自己表現であり、参考となる書籍も多数発行されている。自分の思いを相手に正確に伝えることができるとともに、自分も周囲の人にも気持ちよく人間関係を築いていくのだ。自分がAタイプ傾向であるとか、Bタイプ傾向であると感じて、何かしら困り感がある人は、是非一度「アサーション」について調べてみてはどうだろうか。今と違った未来になると思う。

改訂版  
アサーションブック  
Assertion training  
やさしく学ぶアサーションブック  
平木典子

### 西高百選

◎ 牧田博匡 (社会科)



#### 『七瀬ふたたび』

筒井康隆 / 著

「自分に超能力があつたらなあ…」  
一度はそう思ったことがありませんか？  
私がこの作品を知ったのは中学3年生でした。ある日の深夜、ついつい放しだつたテレビで放送されていたドラマのシチュエーションに妙に惹かれ、後日同じタイトルの小説を購入しました。テレビ、感動力、時間進行、予知能力、そしてその超能力者たちを排除する組織など、字面にするといかにもありふれたSFという印象ですが、そこはさすが筒井作品。メインリテの苦惱がリアルに描かれています。人類が長い間羨望してきた「超能力」を持つ人間が本当にいたら、能力者たちは一体どんな運命を辿るのか。その「然とする」ラストがとてモロ



象徴的で、思い出深い作品です。

◎ 西村峻太 (数学)



#### 『ウチタメメンタル 心の絆を太くする術』

内田篤人 / 著

高校の大先輩であるウッチーの本を紹介させてもらいます。よくメンタルは「強い・弱い」と表現されませんが、ウッチーは、メンタルを「上下」で考えると言っています。イメージで言うと、「上」は元気なイメージ、「下」は冷静なイメージ。メンタルが「下」し、気持ちの揺れ幅が大きくなってしまうとパフォーマンスにも液が出てしまうと書かれています。ウッチーは「下」メンタルの人らしく、あえてうれいし時毛喜び過ぎないようにしているらしいです。僕自身は「上」のタイプかな？と思つているので、苦しい時毛察しにくいようにしています。そうすると自然と好転しだります。社会人としてのメンタル管理のヒントになることが載つているかもなのでぜひ読んでみてくだ



ださい

### 第六回ピリオバトル 3年生チャンプ本決定戦 優勝は34HR 鈴木勇斗さん!

6月3日、第6回3年生ピリオバトルチャンプ本決定戦が体育館で開催されました。体育館の蒸し暑さに負けない、熱い戦いが繰り広げられました。

投票の結果34HRの鈴木勇斗さんの『三日間の幸福』がチャンプ本に選ばれました。

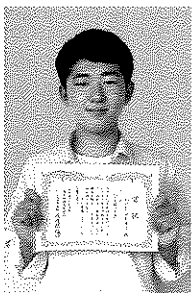
図書委員会では、本の内容を魅力的に紹介していた鈴木勇斗さんにインタビューしました。

Q 今回のピリオバトルを終えての感想を教えてください。

A 文化祭が舞台となり緊張しましたが、全力のパフォーマンスが出せ、2年連続チャンプや3年連続出場が強豪たちと戦えて楽しかったです。

Q 本を紹介するときに意識していたことはありますか？

A 自分が笑顔でいること、大きな声で話すこと、でもやはり一番は観客を笑わせることです。



3年チャンプ 鈴木勇斗さん



文化祭での3年生決勝の発表

Q この本に決めた、決め手は何ですか？

A 親友の眞伊吹君から紹介され、好きになったからです！

Q 県大会に向けての抱負を聞かせてください。

A 今回は西高を爆笑の渦に巻き込んだので、次は静岡県を大爆笑の渦に巻き込みたいです！

#### 『ワンガクの読み直し』

#### 『生きるかなしみ』

山田太一 編

「ふぞろいの林檎たち」というドラマを知っている生徒はいるだろうか。中井貴一や柳沢慎吾が主演だったといえいいか、サザンの「いとしのエリー」が主題歌だったといえいいか。15年かけてシリーズVIまで作られるほどの人気作品だったので、名前だけなら聞いたことがある人もいるだろう。

実際、私もこのドラマを初めて見たのは大学に入ってからだったが、第一話からかなりの衝撃を受けたのを覚えている。いきなり、四流大学に通う主人公が、東大医学部生に「失礼だけど、大学どこ？」と聞かれて、恥ずかしさのあまり答えられないというシーンから始まるのだ。それだけではない。例えば、自分の容姿が自由なこと悩む女性主人公が、美男子では高望みだと思つて諦め、自分でも付き合つてくれそうな出っ歯で三枚目の男(柳沢慎吾)をデートに誘つて「嫌々いるような顔しないで、今日は五千円だから五千円分だけ笑つて」とお金を渡すシーンでは、そこまでしないと自分は男性と付き合えないと思う彼女の卑屈さや劣等感がひしひしと感じられる、とても見ていられなかった。

「ふぞろいの林檎」というのは、不格好で見栄えが良くないから出荷前にはねられてしまう林檎をさす。その名前通り、このドラマは、自分の容姿や学歴、経済状況や家庭環境など様々なコンプレックスを抱える登場人物たちが、劣等感に苛まれ、傷ついていく姿を描いた作品だといえるだろう。では、なぜこんな暗い、目をそむけたくないような作品を書いたのだろうか。この作品の脚本を手掛けた山田太一は、『生きるかなしみ』の序文でこんなことを書いてる。

時代の気分はおおむね「生きるかなしみ」に背を向けている、そのような言葉は見たくもない。気の滅入るようなことを、わざわざ本を買って確認する人間が何処にいるだろうか。(中略)しかしこうした楽天性は一種の神経症といふべきで、人間の暗部から逃げ回っているだけのことである。目をそむければ暗いことは消えてなくなるだろうと願っている人を、楽天的とはいえない。本来の意味での楽天性とは、人間の暗部にも目が行き届き、その上で尚肯定的に人生を生きていることをいうのだから。

「断念すること」と題されたこの文章や、「ふぞろいの林檎たち」が書かれた当時、日本では万博が開かれ、資産額が世界一になり、「頑張れば何でもできる」という「可能性」に浮かれていた時代であった。その中で山田は、「本当は人間に出来ることなどが知られていない」のであり、「可能性」という衝動を逃れて、「生きるかなしみ」に思いをはせるべきだといふ。もちろん、この話を紹介して、「可能性」に満ち溢れている生徒諸君に「あきらめろ」というわけではない。そうではなく、無力感に苛まれたり、断念しなければならぬ時が必ずくるのであり、その時、この作品たちを読んだり、見たりして欲しいと思うのである。そこでは、例えばドラマの最終話で、露骨な学歴差別をされても「胸はつてりやいんだよ！問題は生き方よ」と思えるようになった主人公たちの姿を目にすることが出来るだろう。「断念すること」でしか見えてこない道もあるのである。(国語科・橋下秀司)



#### 『図書室イチオシ！ 医療系マンガコーナー』

医療系の進路を希望している生徒に薦めたい、小論対策にも使えるマンガやイラストエッセイを集めてコーナーにしました。医療系以外の進路を希望する生徒の利用も大歓迎です。

『病院というヘンテコな場所が教えてくれたコト。』 仲本りさ / 著

学校を卒業し看護師として働き始めた著者が、患者さんと接した時の出来事や自身の看護観をイラストで描いたエッセイ。看護師を目指す人にはもちろん、看護の仕事に興味がある人は手に取って見てくだ



- アンサンブルシネテラ
- 『コウノドリ』
- 『19番目のカルテ』
- 『シユリンク 精神科医ヨワイ』
- 『ドクター診療所』
- 『ナースのチカラ』
- 『雑誌切り抜き速報 医療と安全管理総集版』

全国青少年読書感想文コンクール  
課題図書紹介

『その扉をたたく音』

瀬尾まいこ／著

ミュージシャンの夢を捨てきれずに日々を送っていた29歳の宮路は老人ホーム「そよかぜ荘」で弾き語りを頼まれる。会場で介護士渡部のサクスを聞き心が動いた宮路は、いつか渡部と演奏会をしたいという願望をもつ。「そよかぜ荘」に何度か通う中、入居者との関わりも深まる。数か月して渡部と念願の演奏会ができることに。しかし、演奏会をするまでの期間に様々な辛い出来事が起こるが……。人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動長編。  
(22HR 望月そら)



『建築家になりたい君へ』

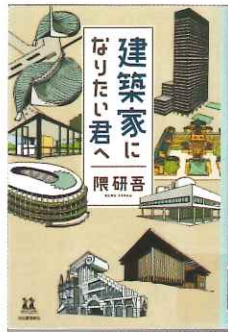
限研吾／著

この本は、東京オリンピック2020の会場となった新国立競技場や、中国での初建築となった竹

の家など、数々の有名な建築を手がけた限研吾さんが著した、ある種の自伝です。

限研吾さんの半生をたどること、建築家にとって必要な経験の積み方や重要なことを示しています。『建築家になるためには、建築の勉強をしているだけではだめ』これは、建築という分野にとどまらずすべての人に言えることだと思います。

建築に興味のない人でも限研吾さんの伝えたいことに感心させられる本です。ぜひ読んでみてください。  
(24HR 三村明日葉)



『クジラの骨と僕らの未来』

中村 玄／著

子供の頃から生き物が好きだった著者が、爬虫類を飼ったり理科の授業に影響され骨格標本を作ったり、さらには大学研究室の見学・留学という経験を通して、クジラの研究者という道を見つけていく話。

日常生活に潜む小さな『好き』や『面白い』からクジラの研究者になった著者は、進路に悩んでい

る私たちの背中を押してくれる存在となると思う。この本を読んで私は、何か一つどんなことでも没頭できるものがあるということ、将来就きたい仕事を決めるヒントとなる大切なものだと感じた。

視野を広げるよい機会にするために、動物好きはもちろん進路に悩む全員にぜひ読んでほしい一冊。  
(23HR 木村しずか)



夏休みの読書に！

その他新着本

- 『香君 上・下』上橋菜穂子
- 『剣持麗子のワンナイト推理』新川帆立
- 『レジェンドアニメ！』辻村深月
- 『大正浪漫』NATSUMI
- 『マスカレードゲーム』東野圭吾
- 『桜風堂夢ものがたり』村山早紀
- 『三体1〜3巻』劉慈欣
- 『はたらく細胞1〜6巻』
- 『大人の語彙力ノート』
- 『物語ウクライナの歴史』
- 『地球温暖化を解決したい』
- 『マイテーマの探し方』
- 『100年無敵の勉強法』

読書感想文コンクール  
作品募集！

応募要項

- 対象 1〜3年生希望者
- 用紙 A4サイズの4000字詰原稿用紙
- 字数 縦書き2000文字以内
- タイトル、氏名はマスの外の余白に記入し文字数に含めない
- 締切 8月22日(月)まで
- 国語科・佐藤先生に提出

対象図書 次のように区分する

- ①自由読書  
自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
- ※教科書・副読本・雑誌及びパンフレット類は対象としません。
- ②課題読書  
主催者の指定した次の3冊から選択。

- 『その扉をたたく音』 瀬尾まいこ／著(集英社)
  - 『建築家になりたい君へ』 限研吾／著(河出書房新社)
  - 『クジラの骨と僕らの未来』 中村玄／著(理論社)
- 提出された感想文は校内で選考を行い、第68回静岡県青少年読書感想文コンクールに応募します。